

原子力規制委員会 田中俊一殿  
九州電力(株) 瓜生道明殿  
四国電力(株) 佐伯勇人殿

## 川内原発 1 号機・2 号機即時運転停止及び伊方原発再稼働計画の放棄を求める

私たち日本基督教団大阪教区に属するキリスト者は 4 月 14 日と 16 日未明とに熊本地方で起きた震度 7 の地震によって失われた「いのち」と生活の場、そして今なお余震が続き、不安の中で過ごされている人々に深い痛みを覚え、祈る者です。

この度九州地方で起こった地震は震源域が当初の日奈久断層帯から北東の阿蘇地方や、大分県へ、さらに熊本地方の南西側の八代市、天草諸島へと中央構造線断層帯の延長線上に拡大しています。

川内原子力発電所(下線部分は以下「原発」)は鹿児島県薩摩川内市にあり 2011 年 3 月 11 日の東日本大震災後、運転を停止していました。しかし 2015 年 8 月 11 日原子力規制委員会の再稼働許可と鹿児島県の同意により、現在日本で唯一稼働している原発です。原子力規制委員会は今回の熊本地方の大地震後も止める理由は無いとして運転し続けていますが、日奈久断層帯が近く、4 月 19 日震度 5 強の地震を起こした八代市から約 70 km と、いつ連動に見舞われるかと心配です。これほど危険の明白な状況での運転は許されません。即時停止してください。

伊方原発も東日本大震災後、運転停止していますが、原子力規制委員会が 2016 年 4 月 19 日保安規定を認可し、7 月下旬再稼働を目指しています。伊方原発は愛媛県西宇和郡伊方町の細長い佐田岬半島の付け根にあります。大分県別府市から約 70 km の中央構造線上にあり中央構造線が連動して動けばひとたまりもありません。今は停止していますが、使用済み核燃料はプールに 1 号機～3 号機全体で 1422 体の使用済み核燃料が貯蔵されています。今回の中央構造線沿いに連動する地震が伊方原発近くに波及して、熊本で起こった震度 7 レベルの地震が誘発されると最大加速度が 1580 ガルを超える揺れが起こり伊方原発の使用済み燃料プールの破損が起こる可能性が考えられます。使用済み燃料プールは構造上、原子炉格納容器のような強固な建屋ではないので、プールの水が無くなればメルトダウンが起こります。さらに伊方原発 3 号機はプルサーマルの計画があるため用意される核燃料にはプルトニウムが混合されます。この燃料を原子炉に装荷すると地震による事故の際にはとてつもない放射能汚染が広がります。福島原発で大問題になったように事故が起こると関西一円に大きな被害をこうむります。この不安定な状況の中での再稼働は危険です。

私たちキリスト者は旧約聖書創世記 1 章 31 節「神はお造りになったすべてのものをご覧になった。見よ、それは極めて良かった」に基づき、核の無い世界、自然を大切にする世界を目指しています。私たち大阪教区内に住むキリスト者はこの危険な状況に置かれている川内原発の即時運転停止と近畿地方にも影響を及ぼす伊方原発の再稼働を放棄するよう、九州電力と四国電力及び原子力規制委員会に強く求めます。

2016 年 5 月 4 日

第 61 回日本基督教団大阪教区総会  
大阪教区総会議長 小笠原 純